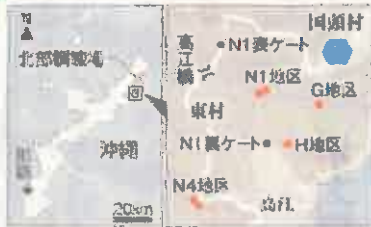


平成28年9月26日(月)産経新聞

<1面>

沖縄米軍北部訓練場 移設工事からみ暴力常態化



反対派による暴行があったのは9月24日午後、訓練場内の「H地区」にあるヘリコプター離着陸帯(ヘリパッド)移設の工事現場で、不法侵入した反対派が沖縄防衛局職員らともみ合いになり、職員1人が倒されて頭を強く打ち、一時意識が朦朧となった。職員は名護市内の病院に搬送された。

反対派の暴行 防衛省被害届

沖縄県の米軍北部訓練場(東村など)の拡張にからみ、工事反対派グループが防衛省職員に暴行を加えたとして、沖縄防衛局が沖縄県警に被害届を提出する方針を固めたことが25日、分かった。反対派は8月下旬にも防衛省職員にけがを負わせるなどしており、暴力を伴う妨害活動が常態化している実態が浮き彫りになった形だ。

＝3面「周辺ルポ」

もみ合い 職員倒され搬送

れて精神検査を受け、異常はなかったが、沖縄防衛局は被害届を提出し、26日に名護署に被害届を出す。

北部訓練場をめぐっては、8月下旬に別の沖縄防衛局職員が反対派のデモに引きずり込まれて負傷した上、職員らの電話番号が記載された名刺を奪われる事件が発生。沖縄防衛局はこの際も県警に被害届を提出しており、被害届提出は今回で2回目となる。

北部訓練場のヘリパッド移設は平成28年のSACO(沖縄特別行動委員会)最終報告に基づき工事で、政府は来年までの完了を目指す。

日米両政府は移設を条件に訓練場約7500坪のうち約4千坪を返還することで合意しているが、反対派の妨害でヘリパッド6カ所のうち4カ所の工事が完了していない。

平成28年9月26日(月)産経新聞

<3面>



資材搬入阻み路上集会

沖縄米軍訓練場周辺ルネ

米軍北谷訓練場周辺で、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。

「山」の中心は部人の上昇入りに対し、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。

米軍北谷訓練場周辺で、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。

活動家急増 勝手に検問

21日の集会も、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。

活動家の急増により、勝手に検問が行われるようになった。これは、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。

活動家の急増により、勝手に検問が行われるようになった。これは、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。集会は、米軍基地の拡張計画に反対する市民らが、資材搬入を阻むため路上集会を開いた。